

京都府国土利用計画・土地利用基本計画に対する国及び府内市町村からの意見取りまとめ

(国)

部局	該当箇所	意見等	対応	備考
国土交通省	地域全体の利益を実現する最適な土地利用・管理については、関連する制度を組み合わせながら、人口減少が加速する中で、発生する低未利用土地や空き家等の有効利用や高度利用による土地利用の効率化を図るとともに、地域の持続性の確保につながる土地利用の転換といった土地利用の最適化を進めることが重要である。	令和5年7月に策定された第6次全国計画において新規の記載項目である「国土の管理構想」に関して触れていただきたい。	<p>【案文修正】</p> <p>地域全体の利益を実現する最適な土地利用・管理については、関連する制度を組み合わせながら、人口減少が加速する中で、発生する低未利用土地や空き家等の有効利用や高度利用による土地利用の効率化を図るとともに、<u>国において「国土の管理構想」が進められていることも踏まえ、地域の持続性の確保につながる土地利用の転換といった土地利用の最適化を進めることが重要である。</u></p>	本文 P4-5 参照

(市町村)

部局	該当箇所	意見等	対応	備考
向日市①	乙訓地域(向日市・長岡京市・大山崎町)では、文化・芸術の力を生かし、アートとテクノロジーを融合させた新たな産業を創造し、起業を促すとともに、次世代を担う起業家や企業の中核を担う人材育成を進めるアート&テクノロジー・ヴィレッジ京都の推進を図る。	京都府において、令和10年度を目標に京都アリーナ(仮称)の整備を計画されており、地域の交流や賑わいの拠点として、本市に大きな経済効果を波及させるものであることから、 <u>京都アリーナ(仮称)について記載を追加していただきたい。</u>	<p>【案文修正】</p> <p>乙訓地域では、<u>向日町競輪場用地の再整備に伴い、レジャーや憩いの場、スポーツ活動の促進や地域防災の拠点等の機能を併せ持った屋内スポーツ施設の整備を進めるとともに、文化・芸術の力を生かし、アートとテクノロジーを融合させた新たな産業を創造し…(略)</u></p>	本文 P23 参照
向日市②	また、幹線道路等の都市基盤の整備や地域と連携した環境にやさしいまちづくりを進めるとともに、京都市内観光との連携強化に取り組む。	本市では、「ふるさと向日市創生計画」に基づき、現在、地権者等の意向を踏まえながら、営農環境の保全・向上に資する農地集約と新たな産業集積に資する土地利用の転換を、市街化調整区域における地区計画制度により実施する取組を推進しているため、 <u>「産業の集積に資する計画的な土地利用の推進」という記載を追加していただきたい。</u>	<p>【案文修正】</p> <p>幹線道路等の都市基盤の整備や、<u>産業の集積に資する計画的な土地利用の推進及び</u>地域と連携した環境にやさしいまちづくりを進めるとともに、京都市内観光との連携強化に取り組む。</p>	本文 P23 参照
綾部市①	特に市街地においては、道路緑化の推進等により、良好な沿道環境の保全・創造に努める。	近年では成長した街路樹が交通の妨げになる等、維持管理の負担などが問題になってきているところであり、特に周囲を緑に囲まれた北部の市街地では、必ずしも道路緑化が必要とは言えないところがあるので、 <u>「地域事情に応じて」という表現を加えていただきたい。</u>	<p>【案文修正なし】</p> <p>周囲の緑の多寡にかかわらず、道路緑化は歩道等に緑陰をつくるためや、遮光、交通分離等円滑な道路交通の確保のため整備が進められているため。</p>	本文 P26 参照
綾部市②	住宅地の整備に際しては、世帯数が計画期間中に増加すると見込まれるため、土地利用の高度化、低未利用土地の活用、空き家の活用・除却を推進し、農地や森林等からの転換は抑制しつつ、必要な用地を確保する。	既成市街地内の空家空き地の活用を進める一方で、市街地周辺の一定の農地等は宅地への利用転換によって一定の宅地を確保、人口を市街地に集積していく方針を持っている。 <u>「地域事情に応じて」という表現を加えていただきたい。</u>	<p>【案文修正】</p> <p>農地や森林等からの転換は<u>地域の状況を踏まえて</u>抑制を図りながら、必要な用地を確保する。</p>	本文 P26 参照